

公の施設のあり方検討結果個表

施設の名称	県立点字図書館		
所在地	前橋市新前橋町13-12(群馬県社会福祉総合センター3階)		
所管部局・課	健康福祉部障害政策課	現在の運営方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者
担当係	地域生活支援係	内線	2644

1 施設の設置根拠(法律、条例等)

・身体障害者福祉法
 ・群馬県立点字図書館の設置及び管理に関する条例 等

2 施設の役割

(1) 設置目的

視覚障害者の福祉の向上と社会福祉の発展に寄与することを目的とする。

(2) 設置当初の状況

関係者の意見要望が高まり、昭和46年「声の図書室」から始まり、昭和48年に設置された。これは、全国での県立施設の設立とほぼ同時期の設立である。以後、視覚障害者の教養・文化の向上と、日常生活に必要な情報を提供することを目的に運営されている。

(3) 施設を取り巻く現状

全国視覚障害者情報提供施設協会により全国の点字図書館がネットワークされている現在、地方の点字図書館の今後の活動内容(図書製作・図書の貸出方法など)を改めて見直す必要が出てくると考えられる。

3 施設の概要

設置年月日	昭和48年9月1日
敷地面積(所有者)	-(入居施設)
主な施設(床面積、階数等)	312.98㎡(事務室県閲覧室54.14㎡、書庫146.27㎡、録音室及び編集室35.58㎡、ボランティア室43.85㎡、PC点訳・印刷室33.14㎡)
建設費	-(入居施設)
備考	

◇入園料・利用料等 (円)

◇利用時間(休館日)

区分	金額	
一般	0	○利用時間 午前9時から午後5時まで
大学生・高校生	0	○休館日 ・日曜日及び土曜日 ・国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)第3条に規定する休日 ・12月29日から翌年1月3日まで

4 施設における実施事業

・点字図書、録音図書及びデイジー図書の貸出
 ・点字図書、録音図書及びデイジー図書の製作及び収集
 ・点訳・音訳奉仕員の指導養成
 ・利用者からの相談
 ・利用者への情報提供
 ・利用者へのデイジー再生機貸与及び操作講習会の実施

5 管理運営コストの状況

区 分	令和2年度 (当初予算額)	令和元年度 (決算額)	平成30年度 (決算額)	平成29年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)
歳入(①)	17,094	14,215	13,484	13,139	13,296
国庫金	17,094	14,215	13,484	13,139	13,296
歳出(②)	40,965	42,791	40,802	40,239	42,048
指定管理料	40,965	40,667	40,369	40,149	41,078
備品費		1,497	433	90	970
役務費		440			
使賃料		33			
需用費		154			
歳入・歳出の差額(①-②)	▲ 23,871	▲ 28,576	▲ 27,318	▲ 27,100	▲ 28,752
歳入・歳出の主な増減理由	歳入のうち、国庫金については国の国庫補助基準により変動があるためであり、歳出については、指定管理期間における人件費及びパソコン入替による変動によるものである。				

※ 施設の管理運営に係る県の歳入・歳出

◇ 指定管理者の収支状況(指定管理業務に係る部分のみ)

(千円)

区 分	令和2年度 (当初計画額)	令和元年度 (決算額)	平成30年度 (決算額)	平成29年度 (決算額)	平成28年度 (決算額)
収入(①)	41,404	42,728	40,800	42,331	50,636
指定管理費	40,965	40,667	40,369	40,149	41,907
雑入	439	2,061	431	2,182	1,268
積立資産取崩収入					7,461
支出(②)	41,404	42,250	39,954	42,296	50,613
人件費	31,562	29,935	33,016	32,077	40,646
委託料	40	227	49	7	7
租税公課費	74	34	44	32	40
その他	9,728	12,054	6,845	10,180	9,920
収支(①-②)	0	478	846	35	23
歳入・歳出の差額、収支の主な増減理由					

※ 指定管理者の指定管理業務に係る収支

6 職員の状況(各年度4月1日現在)

(人)

	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
常勤職員	5	5	5	5	6
非常勤職員	3	3	3	3	4
合 計	8	8	8	8	10

7 施設利用の状況

区 分	令和2年度※	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
年間利用者総数(人)	9,600	9,624	10,001	10,389	10,847
有料利用者数(人)	—	—	—	—	—
	無料利用者数(人)	9,600	9,624	10,001	10,389
目標利用者数(人)	15,000	15,000	15,000	15,000	
施設稼働率(%)	—	—	—	—	—
稼働率対象施設(設備)	—				
利用者の主な増減理由	利用形態が当館からの直接貸出よりも、サピエ図書館からの直接ダウンロード利用に移行している傾向があるためと考えられる。				

※ 見込数又は途中実績を記入

8 必要性及び管理運営方法についての方向性

区 分	内 容
施設の必要性	視覚障害者への情報支援に関しては、点字図書や録音図書の製作・貸出等に対応する必要があるが、点字図書館は県立の他桐生市立点字図書館しか設置されておらず、県として全県的な事業の実施体制を確保するため、当該施設において視覚障害者への情報支援に対応していく必要があり、施設の必要性は高い。
業務等の見直し	利用者満足度調査結果等を踏まえた業務の改善、施設利用の広報、収蔵図書の充実、点訳・音訳奉仕員の養成等に引き続き取り組み、利用者サービスの向上に努めていく。 また、視覚障害者の要望等を踏まえながら、施設の設置目的に基づき、適切な施設運営に努めていく。